応用化学科〔2024年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

- (1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- (2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
- (3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
- 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。(相互に理解し議論するコミュニケーションカ)
- (5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
- ・地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する 行動力〕
 - ◆注:「(3)」を明細化したものが、各学科のDPとなる
- (A) 人文社会科学や自然科学などの幅広い教養を身につけ、広い視点で化学技術力を発揮できる。〔幅広い教養と応用力〕
- (B) 化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。〔化学の専門知識の修得力〕
- (C) 化学の実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協働して取り組むことができる。〔他者との協働性と課題解決能力〕
- (D) 持統的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命観や倫理観をもって行動できる。〔化学技術者としての使命感・倫理観と実践力〕
- (E) 化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。〔継続的な学修力とケミカルハザード・リスクへの対応力〕
- (F) 化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。(化学の専門知識を基盤としたコミュニケーション能力)
- (G) 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。〔情報技術を活用した発信力〕

《DPを達成するために特に重要度の高い科目には②、重要度の高い科目には〇、DPの達成を効果的に補助する科目には \triangle 》

分野	分野目:		単位数	DP 1)	DP2)	DP 3)	DP4)	DP5)	DP 6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		世界と人間	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		文章表現基礎	2	0	0		0									
		哲学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		倫理学	2	0	0		Δ		Δ							
		美術史	2	0	0		Δ		Δ							
		文学	2	0	0		Δ		Δ							
		日本語の歴史	2	0	0		Δ		Δ							
		法学(日本国憲法)	2	0	0		Δ		Δ							
		経済学	2	0	0		Δ		Δ							
		歴史学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		心理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の伝統と文化	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		国際関係論	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の文化と社会I	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の文化と社会Ⅱ	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		ベーシック・イングリッシュ a	1	Δ	0		0		0							
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	ベーシック・イングリッシュ b	1	Δ	0		0		0							
	素養・能力として、広い視野の人文学的教養にも		1	Δ	0		0		0							
キャリア	とづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用	オーラル・コミュニケーションIb	1	Δ	0		0		0							
形成の基礎	した円滑なコミュニケーション力が発揮できると	オーラル・コミュニケーションⅡ a	1	Δ	0		0		0							
	ともに、心身の健康を維持増進する方策を備えて	オーラル・コミュニケーションⅡ b	1	Δ	0		0		0							
	いる。	工学コミュニケーション英語基礎 a	1	Δ	0		0		0							
		工学コミュニケーション英語基礎 b	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ I a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュIb	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュⅡ a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュⅡ b	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション a	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション b	1	Δ	0		0		0							
		中国語コミュニケーション	1	Δ	0		0		0							
		中国語と現代中国事情	1	Δ	0		0		0							
		海外語学研修	2	Δ	0		0		0							
		日本語 I	2	Δ	0		0		0							
		日本語Ⅱ	2	Δ	0		0		0							
		健康体育I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		健康体育II	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツI	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツⅡ	1	Δ	0		0	0	Δ							

	I	解析学 I		0						0	1					
			2		0	Δ.					1		1			
		解析学I演習	1	0	0	Δ				0						
		解析学Ⅱ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅱ演習	1	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ演習	1	0	0	0				0						
		線形代数学 I	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅱ	2	0	0	0				0						
		微分方程式 I	2	0	0	0				0						
		微分方程式Ⅱ	2	0	0	0				0	 					
		物理学a	2	Δ	0											
	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的	物理学 b	2	0	0	Δ				Δ	1					-
	素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関															
	連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共	物理学 c	2	0	0	0				0						
工学の基礎	生を念頭においた思考・判断ができるとともに、	物理学d	2	0	0	0				0						
	実践的に他者と協働するなかで専門分野における	物理学実験	2	\triangle	\triangle	0	0	0	0	0		Δ	0		0	Δ
	学修意欲を増進する。	化学	2	\triangle	0				0							
	1 PAGIN CARE 7 VS	地球科学	2		0				0	0			Δ			
		生物科学	2		0	0			0	0			Δ			
		基礎情報処理 I	1		0		1	1								t -
1		基礎情報処理Ⅱ	1		0		1	l			1	1				†
1		確率と統計 I	2	0	0	0	 	1		0	1	1				-
		確率と統計Ⅱ	2	0	0	0		-		0	-	1	1			\vdash
					_	_			_							_
		サイエンス探求演習(PBL)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		宇宙・地球・生命-探究演習(PBL)	1	Δ	Δ		0	0	0	Δ					Δ	
		工学倫理	2	\triangle			Δ	0	0							
		知的財産法概論	2	0	0		Δ	\triangle	\triangle							
		淀川学	1	Δ	0		Δ	Δ	0							
		級数とフーリエ解析	2	0	0	0				0						
		ベクトル解析	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		線形代数学IV	2	0	0	0				0						
		複素解析I	2	0	0	0				0						
		複素解析Ⅱ	2	0	0	0				0						
		応用数学 I	2		0	0				0	1					
		応用数学Ⅱ	2		Ō	0				Ō		1				
		実践化学	2	Δ	0				0			1				
		地球システムと人間	2		0				0	0			Δ			
		環境生物学	2		0	0			0	0			Δ			
		人間発達と人権	2		0			0	9			1				
数理科学と	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理	教育学 I	2		0			9		-	-	1	1			-
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	教育学Ⅱ	2		0		-	-			-	1	1			1
教育	会の発展に寄与する思考・判断ができる。	教育子 II 現代代数学	× 4		0		1	<u> </u>			1	1	1			-
					-		1	-		-	-	1	-			
		数学特論	* 4		-		1	-		-	-	1	-			
		現代幾何学	* 4		ļ			-		ļ	-	1	-			
		現代解析学	× 4		 		!	 		_		1				<u> </u>
		教職物理学	× 4				1				<u> </u>	1				<u> </u>
		化学実験	× 2				1				<u> </u>	1				<u> </u>
		地学Ⅰ	× 2				1					1				<u> </u>
		地学Ⅱ	× 2									1				<u> </u>
		地学実験	※ 2				1									
		生物学I	× 2													
		生物学Ⅱ	※ 2													
		生物学実験	※ 2													
		キャリアデザイン	1	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	キャリア形成支援	1	0	1		0	1		1		1				
その他	ノー・ルにも時代に対応できる正式代も金融的		2	Ť	1	0	0	1		1	1	1				
	素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発				l	· ·	U				<u> </u>		<u> </u>			<u> </u>
連携科目	展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動		1					0								
	環境で発揮できる。	グローバルテクノロジー論b	1					0								
		OIT概論	1	0												
	1	ı											-			ь



分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP1	DP 2	DP3	DP4	DP5	DP 6	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		応用化学実験基礎	• 2	Δ	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0	0
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	応用化学実験 A	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	な化学現象の本質を説明できる。	応用化学実験 B	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	化学の実験や演習により修得した問題解決能力を	応用化学実験C	• 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	もとに、社会の要求や課題に対して他者と協議し	基礎化学演習 a 基礎化学演習 b	● 1 ● 1	Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0		Δ	Δ
	て取り組むことができる。	基礎化字演習 b 基礎化学演習 c	• 1	Δ	Ο Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	0		0	Δ
		応用化学演習 a	• 1	0	0	0		0	- 0	Δ	0	0		0	0	0
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	応用化学演習 b	• 1	Ö		0			0	0	Ö		0	0		
基幹科目	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	応用化学演習 c	• 1	Ť	0	0				0	0			ŏ		
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	化学概論 a	• 2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	適切に対処することができる。	化学概論 b	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考え	無機化学I	• 2	Δ	0	0				Δ	0		Δ	0		Δ
	を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議	無機化学Ⅱ	• 2 • 2	0		0	0	0	Δ	0	0	0	Δ	0	0	^
	論することができる。	物理化学 I 物理化学 II	• 2 • 2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	有機化学 I	• 2	0	0	0			0	Ö	0		0	0		
	きる。	有機化学Ⅱ	• 2	Ö	0	0				0	0			Ö		
		有機化学Ⅲ	• 2	0	Ō	0	Δ		Δ	Ō	0		Δ	Ō	Δ	
		応用化学実験D	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		先端科学探究	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		先端シミュレーション科学	1	0	0	0	-		0	0	0		0	0	<u> </u>	
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	化学工学 I	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1C子技術の基礎を継続して子育し、1C子物員や1C 学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	化学工学 II	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
		化学英語	2	0	Δ	Δ	0		0	Δ	0		0	Δ	0	
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、						_		_							_
総合化学系	適切に対処することができる。	応用化学探求	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0		0	0
科目	化学技術の専門知識と技術力をもとに、自らの	情報化学	2		0	0	0	0			0	0			0	0
	考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもと	量子化学	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	で議論することができる。	分子分光学	2	0	0	0	\triangle		Δ	0	0		0	Δ	Δ	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	電気化学	2		0	0				0	0		0		\triangle	
	きる。	危険物取扱法	2	0	Δ	0			0	0	0		0	0		
		化学安全衛生管理	1	0	0	0			0	0	0		0	0		
		国際研究セミナー	2	Δ	0	0	0	Δ	0	Δ	0	Δ	0	Δ	0	0
		国際インターンシップ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0
		有機化学IV	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
		有機立体化学	2	0	0	0			Δ	<u> </u>	0		0		Δ	
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	反応有機化学	2		0	0					0		0		Δ	
	な化学現象の本質を説明できる。	有機合成化学	2	1	0	0				0	0			0		
	創成材料化学分野の専門科目を継続して学習して	無機合成化学	2	0	0	0				Δ	0			0		0
創成材料化	材料創成やエネルギー関連化学における化学技術					0					0			0		0
学系科目	の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維	物性化学	2	0	0	_			Δ	0			Δ	_		
	持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術	錯体・有機金属	2	0	0	0			0	0	0		Δ	0		0
	について考え、化学技術者としての使命観や倫理	基礎高分子科学	2	0	0	0			Δ	0	0		Δ			
	観をもって行動することができる。	高分子化学	2	0	Δ	0			\triangle		0		Δ			
		高分子物性	2	0	\triangle	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\triangle
		固体化学	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
		分析化学 I	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0		
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	分析化学Ⅱ	2	Δ	0	0			Δ		0		Δ	0	1	
	な化学現象の本質を説明できる。	分子構造解析 I	2	0	0	0		l	0	0	0		0	0	1	
	環境生命化学分野の専門科目を継続して学習して	分子構造解析 II	2	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
環境生命化	環境、生命、健康、食品関連化学における化学技	環境化学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
学系科目	術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の	環境計測	2	0	0	0	Δ	-	Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
TWITE	維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技	等源化学	2	0	0	0		-	0	0	0		0	0		
	雑行・完成に回りて、地球環境に配慮した化子技 術について考え、化学技術者としての使命観や倫		2	0	~	0	ļ						_	0	1	
	押について考え、化子技術者としての使可観や信 理観をもって行動することができる。	有機工業化学	_	_	0	_	ļ	 	0	0	0		0	_	1	
	生既にもつく11別することができる。	生活化学	2	0	0	0			0	0	0		Δ	0	1	
		生命有機化学	2	0	Δ	0	Δ		Δ	Δ	0		Δ	0	Δ	
卒業研究	化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考え を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議 論することができる。	卒業研究	(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。															
			(注) •:	N. Mr. Ol F.	7 . 3	STATE OF ME	CALL MA	A. 1. Miles at 13.60	1 - N/ A / I	a h Lidas	SOLUTION OF	walls on the second	- 1 100 00 1	w	1 64.53	\

(注) ●: 必修科目、■: 選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目) (※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究が DP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。



- (1) 実践力のある 専門的技術者 となるべく 、在学中 だけでなく 生涯にわたって主体的に学修活動 を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- (2) 人文社会科学・自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
- (3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。 [専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)]
- 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論(4) オスコミューケーション けい するコミュニケーション 力〕
- (5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と稽極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
- (6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。(社会に対し能動的に貢献する 行動力)
 - ◆注: 「(3) | を明細化したものが、各学科のDPとなる
- (A) 人文社会科学や自然科学などの幅広い教養を身につけ、広い視点で化学技術力を発揮できる。〔幅広い教養と応用力〕
- (B) 化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。〔化学の専門知識の修得力〕
- (C) 化学の実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協働して取り組むことができる。〔他者との協働性と課題解決能力〕
- (D) 持結的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての仲命観や倫理観をもって行動できる。「化学技術者としての仲命感・倫理観と家践力」
- (E) 化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。 (継続的な学修力とケミカルハザード (E) ・リスクへの対応力) (F) 化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。〔化学の専門知識を基盤としたコミュニケーション能力〕
- (G) 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。〔情報技術を活用した発信力〕

《DPを達成するために特に重要度の高い科目には \odot 、重要度の高い科目には \bigcirc 、DPの達成を効果的に補助する科目には \triangle 》

分野	分野目	標	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP 6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		世界と人間	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		文章表現基礎	2	0	0		0									
		哲学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		倫理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		美術史	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		文学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本語の歴史	2	0	0			Δ								
		法学 (日本国憲法)	2	0	0			Δ								
		経済学	2	0	0			Δ								
		歴史学	2	0	0			Δ								
		心理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の伝統と文化	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		国際関係論	2	0	0			Δ								
		日本の文化 と社会 I	2	0	0			Δ								
		日本の文化と社会Ⅱ	2	0	0			Δ								
		ベーシック・イングリッシュ a	1	Δ	0		0		0							
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	ベーシック・イングリッシュ b	1	Δ	0		0		0							
	素養・能力として、広い視野の人文学的教養にも		1	Δ	0		0		0							
キャリア	とづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用	オーラル・コミュニケーション Ib	1	Δ	0		0		0							
形成の基礎	した円滑なコミュニケーション力が発揮できると	オーラル・コミュニケーション Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
	ともに、心身の健康を維持増進する方策を備えて	オーラル・コミュニケーション Ⅱ b	1	Δ	0		0		0							
	いる。	工学コミュニケーション 英語基礎 a	1	Δ	0		0		0							
		工学コミュニケーション 英語基礎 b	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ I a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ib	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ⅱ b	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション a	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション b	1	Δ	0		0		0							
		中国語コミュニケーション	1	Δ	0		0		0							
		中国語と現代中国事情	1	Δ	0		0		0							
		海外語学研修	2	Δ	0		0		0							
		日本語 I	2	Δ	0		0		0							
		日本語Ⅱ	2	Δ	0		0		0							
		健康体育 I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		健康体育 Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							

1	T	Towns w			_					_						
		解析学I	2	0	0	Δ				0						ــــــ
		解析学 I 演習	1	0	0	Δ	<u> </u>			0		<u> </u>		<u> </u>		ــــــ
		解析学 Ⅱ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅱ演習	1	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ演習	1	0	0	0				0						
		線形代数学 I	2	0	0	0				0						
		線形代数学 Ⅱ	2	0	0	0				0						1
		微分方程式 I	2	0	0	0				0						-
		微分方程式 II	2	0	0	0				0						+
		物理学 a	2	Δ	0					0						
					_											
	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的	物理学 b	2	0	0	Δ				Δ						
	素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関	物理学 c	2	0	0	0				0						
	連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共	物理学 d	2	0	0	0				0						
工学の基礎	生を念頭においた思考・判断ができるとともに、	物理学実験	2	Δ	Δ	0	0	0	0	0		\triangle	0		0	Δ
	実践的に他者と協働するなかで専門分野における	化学	2	Δ	0				0							
	学修意欲を増進する。	地球科学	2		0				0	0			Δ			
	丁砂心状を相遇する。	生物科学	2		0	0			0	0			Δ			
		工学倫理	2	Δ			Δ	0	0							
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	0	0		Δ	Δ	0			l	l	l		<u> </u>
		知的財産法概論	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		基礎情報処理 I	1		0				-			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
		基礎情報処理 II	1		0		-					-		-		
			_						_				-			
		品質管理	2	0	0		Δ	Δ	0			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
		確率と統計Ⅰ	2	0	0	0				0						
		確率と統計 II	2	0	0	0				0						
		淀川学	1	\triangle	0			\triangle	0	\triangle						
		サイエンス探求演習 (PBL)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		宇宙・地球・生命-探究演習(PBL)	1	Δ	Δ		0	0	0	Δ					Δ	
		級数とフーリエ解析	2	0	0	0				0						
		ベクトル解析	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅳ	2	0	0	0				0						
		複素解析 I	2	0	0	0				0						
		複素解析 Ⅱ	2	Ō	0	0				0						1
		応用数学 I	2		Ö	0				Ō						
		応用数学Ⅱ	2		0	0				0						
		実践化学	2	Δ	0				0							-
		地球システムと人間	2		0				0	0			Δ			+
		環境生物学	2		0	0			0	0			Δ			
		環境生物子 人間発達と人権	2	-	0		-	0	⊌	9		-		-		1
数理科学と	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理	大同死達と入惟 教育学 I	2		0			₩								-
数理件子と	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	教育学Ⅱ	2		0											-
₹X.日	会の発展に寄与する思考・判断ができる。	現代代数学	× 4		₩.		-					-		-		-
			* 4 * 4	-			 					 	 	 		
		数学特論 現份無同常					 					 	.	 		
		現代幾何学	× 4				<u> </u>					<u> </u>	 	<u> </u>		
		現代解析学	* 4	-			-					-	ļ	-		-
		教職物理学	× 4				 					 	 	 		
		化学実験	× 2													
		地学Ⅰ	× 2													
		地学Ⅱ	₩ 2													
		地学実験	₩ 2													
		生物学 I	※ 2													
		生物学Ⅱ	※ 2													
		生物学実験	× 2													
		キャリアデザイン	1	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0		0	0
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	キャリア形成支援	1	0			0									
	ノー・・・ にの時にに対応しての正式人の整腕的			†	-	0	0							l		
2- (n) (sh)	李裳・体力の 丁学的組占 かたなみ かせはめい 改	インターンシップ														
その他	素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発 屋ませる基礎的支養・能力を FD 実践的な活動	インターンシップ	2			_		_								
	展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動	グローバルテクノロジー 論a	1					0								
								0								



分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		応用化学実験基礎	● 2	Δ	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0	0
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	応用化学実験 A	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	な化学現象の本質を説明できる。	応用化学実験 B	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	化学の実験や演習により修得した問題解決能力を	応用化学実験 C	• 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		基礎化学演習 a 基礎化学演習 b	● 1 ● 1	Δ	0	0	Δ	Ο Δ	0	0	0	0	0		Δ	Δ
	て取り組むことができる。	基礎化学演習 c	● 1	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	応用化学演習 a	• 1	0	0	0				Δ	0			ŏ		0
	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	応用化学演習 b	● 1	0		0			0	0	0		0	0		
基幹科目	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	応用化学演習 c	● 1		0	0				0	0			0		
	適切に対処することができる。	化学概論 a	• 2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考え	化学概論 b 無機化学 I	● 2 ● 2		Δ	0	0	0	0	Ο	0	0	Ο	0	0	Δ
	を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議	無機化学Ⅱ	• 2	0		0			Δ	0	0		Δ			
	論することができる。	物理化学 I	• 2	ŏ	Δ	0	0	0	0	Ŏ	Ö	0	0	0	0	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	物理化学 Ⅱ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	きる。	有機化学 I	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
		有機化学Ⅱ	● 2 ● 2	0	0	0				0	0			0		
		有機化学Ⅲ 応用化学実験 D	● 2 ● 2	0	0	0	△ ⊚	0	Δ (0)	0	0	0	Δ ©	0	Δ (0)	0
					_			_		_	_		_	_		_
		先端科学探究	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		先端シミュレーション 科学	1	0	0	0		_	0	0	0		0	0		
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	化学工学 I	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	化学工学 II	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	化学英語	2	0	\triangle	\triangle	0		0	Δ	0		0	\triangle	0	
総合化学系	適切に対処することができる。	応用化学探求	2	0	0	0	0	0	0	\triangle	0	0	0		0	0
科目	化学技術の専門知識と技術力をもとに、 自らの	情報化学	2		0	0	0	0			0	0			0	0
14.11	考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもと	量子化学	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	で議論することができる。	分子分光学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0		Δ	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	電気化学	2		0	0				0	0		0		Δ	
	きる。	危険物取扱法	2	0	Δ	0			0	0	0		0	0		
		化学安全衛生管理	1	0	0	0			0	0	0		0	0		
		国際研究セミナー	2		0	0	0	Δ	0	Δ	0	Δ	0		0	0
		国際インターンシップ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0
		有機化学IV	2	0	0	0			0	0	0		0	0	Ť	
		有機立体化学	2	0	0	0			Δ		0		0		Δ	
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	反応有機化学	2		0	0					0		0		Δ	
	な化学現象の本質を説明できる。	有機合成化学	2		0	0			-	0	0			0		
	創成材料化学分野 の専門科目 を継続 して学習して	無機合成化学	2	0	0	0			-	Δ	0			0		0
創成材料化	材料創成やエネルギー関連化学における化学技術		2		0						0			0		U
学系科目	の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維	物性化学		0	_	0			Δ	0	_		Δ			
	持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術	錯体・有機金属	2	0	0	0			0	0	0		Δ	0		0
	について考え、化学技術者としての使命観や倫理	基礎高分子科学	2	0	0	0			Δ	0	0		Δ			
	観をもって行動することができる。	高分子化学	2	0	Δ	0			Δ		0		Δ			
		高分子物性	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
		固体化学	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
		分析化学 I	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	分析化学 Ⅱ	2	Δ	0	0			Δ		0		Δ	0		
	な化学現象の本質を説明できる。	分子構造解析 I	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	環境生命化学分野の専門科目を継続して学習して	分子構造解析 Ⅱ	2	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
環境生命化	環境、生命、健康、食品関連化学 における化学技	環境化学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
学系科目	術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の	環境計測	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
	維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技	資源化学	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	術について考え、化学技術者としての使命観や倫	有機工業化学	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	理観をもって行動することができる。	生活化学	2	0	0	0		l	0	0	0		Δ	0		
		生命有機化学	2	0	Δ	0	Δ		Δ	Δ	0		Δ	0	Δ	
 	化学の専門知識と技術力をもとに、 自らの考え		ا آ	-	-	~	_		-		~		_			
	を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議				l			l								
卒業研究	論することができる。	卒業研究	(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で		1	1	1			1	1							
L	ž 5.		<u> </u>	L	L			L	L					<u></u>		
			(注) ●:			TI Inc. by I for all	4月. 単									

(注) ●: 必修科目、■: 選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目)
(※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究が
DP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。



- (1) 実践力のある 専門的技術者 となるべく 、在学中 だけでなく 生涯にわたって 主体的に学修活動 を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- (2)人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
- (3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。 [専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)]
- するコミュニケーション 力〕
- (5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。「他者との協働による課題解決力」
- (6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。(社会に対し能動的に貢献する 行動力)
 - ◆注:「(3)」を明細化したものが、各学科のDPとなる
- (A) 人文社会科学や自然科学などの幅広い教養を身につけ、広い視点で化学技術力を発揮できる。〔幅広い教養と応用力〕
- (B) 化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。〔化学の専門知識の修得力〕
- (C) 化学の実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協働して取り組むことができる。(他者との協働性と課題解決能力)
- (D) 持続的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命観や倫理観をもって行動できる。「化学技術者としての使命感・倫理観と家践力」
- (E) 化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。(継続的な学修力とケミカルハザード (E) ・リスターの対応力) (F) 化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。(化学の専門知識を基盤としたコミュニケーション能力)
- (G) 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。〔情報技術を活用した発信力〕

«DPを達成するために特に重要度の高い科目には©、重要度の高い科目には \bigcirc 、DPの達成を効果的に補助する科目には \triangle »

分野	分野目	標	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP 6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		世界と人間	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		文章表現基礎	2	0	0		0									
		哲学	2	0	0		Δ		Δ							
		倫理学	2	0	0		Δ		Δ							
		美術史	2	0	0		Δ		Δ							
		文学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本語の歴史	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		法学(日本国憲法)	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		経済学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		歴史学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		心理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の伝統と文化	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		国際関係論	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の文化と社会 I	2	0	0		Δ		Δ							
		日本の文化と社会Ⅱ	2	0	0		Δ		Δ							
		ベーシック・イングリッシュ a	1	Δ	0		0		0							
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	ベーシック・イングリッシュ b	1	Δ	0		0		0							
	素養・能力として、広い視野の人文学的教養にも		1	Δ	0		0		0							
キャリア	とづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用	オーラル・コミュニケーション Ib	1	Δ	0		0		0							
形成の基礎	した円滑なコミュニケーション力が発揮できると	オーラル・コミュニケーション Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
	ともに、心身の健康を維持増進する方策を備えて	オーラル・コミュニケーション Ⅱ b	1	Δ	0		0		0							
	いる。	工学コミュニケーション 英語基礎 a	1	Δ	0		0		0							
		工学コミュニケーション 英語基礎 b	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ I a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ib	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ⅱ b	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション a	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション b	1	Δ	0		0		0							
		中国語コミュニケーション	1	Δ	0		0		0							
		中国語と現代中国事情	1	Δ	0		0		0							
		海外語学研修	2	Δ	0		0		0							
		日本語 I	2	Δ	0		0		0							
		日本語Ⅱ	2	Δ	0		0		0							
		健康体育 I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		健康体育 Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							

		解析学 I	2	0	0	\triangle				0						
		解析学Ⅰ演習	1	0	0	Δ				0						
		解析学Ⅱ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅱ 演習	1	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ演習	1	0	0	0				0						
		線形代数学 I	2	0	0	-				-						
		線形代数学Ⅱ	2		0					-						
				0		0										
		微分方程式 I	2	0	0	0				0						
		微分方程式 Ⅱ	2	0	0	0				0						
		物理学 a	2	\triangle	0											
		物理学 b	2	0	0	\triangle				\triangle						
	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的	物理学 c	2	0	0	0				0						
	素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関	物理学 d	2	0	0	0				0						
	連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共		2	Δ	Δ	0	0	0	0	0		Δ	0		0	Δ
工学の基礎	生を念頭においた思考・判断ができるとともに、	化学	2	Δ	0		Ť		0							
	実践的に他者と協働するなかで専門分野における	地球科学	2		0				0	0			Δ			
	学修意欲を増進する。															
	I PANA CARE I V o	生物科学	2	L .	0	0			0	0			Δ			
		工学倫理	2	Δ			Δ	0	0			<u> </u>	<u> </u>			
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	0	0		Δ	Δ	0							
		知的財産法概論	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		基礎情報処理I	1		0											
		基礎情報処理 Ⅱ	1		0											
		品質管理	2	0	0		Δ	Δ	0							
		確率と統計 I	2	0	0	0				0						
		確率と統計II	2	0	0	0				0						
		淀川と人間	1	Δ	0		Δ	Δ	0							
		淀川と環境	1	Δ	0		Δ	Δ	0							
					_	_			_	_	_			_		
		サイエンス探求演習 (PBL)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		宇宙・地球・生命-探究演習(PBL)	1	Δ	Δ		0	0	0	Δ					Δ	
		級数とフーリエ解析	2	0	0	0				0						
		ベクトル解析	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅳ	2	0	0	0				0						
		複素解析 I	2	0	_	0				0						
					0											
		複素解析 Ⅱ	2	0	0	0				0						
		複素解析 II 応用数学 I	2			0				0						
		応用数学 I			0	0				0						
		応用数学 I 応用数学 Ⅱ	2	0	0				0							
		応用数学 I	2		0	0			0	0			Δ			
		応用数学 I 応用数学 II 実践化学 地球システムと人間	2 2 2 2	0	0 0	0			0	0						
		応用数学 Ⅱ 応用数学 Ⅲ 実践化学	2 2 2	0	© 0 0	0		0		0			Δ			
新理科学 レ	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 物音学 I	2 2 2 2 2 2	0	© 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0		0	0	0						
数理科学と 数音	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I	2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0	0		0	0	0 0						
数理科学と 教育		応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数育学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	© 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数有学 I 現代代数学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	0	0 0 0 0 0	0		0	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 II 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 II 現代代数学 数学特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 **4	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数育学 I 数育学 I 数育学 M代代数学 数学特論 現代機何学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数介学 I 数代代数学 数学特論 現代代数学 数子特論 現代機何学 現代解析学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 ** 4 ** 4	0	0 0 0 0 0	0		0	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と大権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 教職物理学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4	0	0 0 0 0 0	0		0	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代幾何学 現代機何学 現代機何学 現代機何学 現代機可学 現代職物理学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4	0	0 0 0 0 0	0		0	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数代代数 数明学 数現代機阿学 現代機阿学 現代解析学 数職物理学 位学実験 地学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 2 3 3 2 5 4 5 2 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 現代代数学 数字件論 現代代数学 数学代幾何学 現代解析学 数職物理学 化学 実験 地学 I 地学 I 地学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 2 3 3 2 2 3 2 3	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 教職物理学 化学実験 地学 I 地学 I 地	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 2 2 3 2 2 3 2 3	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 数で物理学 化学実験 地学 I 地学 II 地学 II 地学 II 地学 II 地学 R 生学 表 生物学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 S 生物学 I 地学 I 上	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 2 3 2	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 製代代数 数質学 I 製代代報 製代代報 製代機何学 現代解析学 数職物理学 化学実験 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0	0		©	0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 数で物理学 化学実験 地学 I 地学 II 地学 II 地学 II 地学 II 地学 R 生学 表 生物学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 地学 S 生物学 I 地学 I 上	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 2 3 2	0	0 0 0 0 0	0			0	0 0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 製代代数 数質学 I 製代代報 製代代報 製代機何学 現代解析学 数職物理学 化学実験 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0	0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	0	0 0	Δ				0	0
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。	応用数学 I 応用数学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Δ		0			© ©	0 0	Δ			Δ		0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	応用数学 I 応用数学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Δ		ΦΔ	0		© ©	0 0	Δ	0		Δ	0	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代粉論 現代代粉論 現代代解析学 教院の学 現代解析学 教育学 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I セオッチ アディン キャリア 形成 支援 インターンシップ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Δ		0		©	© ©	0 0	Δ			Δ	0	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 業養・能力々、工学的観点から社会を持続的に発 展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 数代学 数代教師 数代教師 数代教師 数代教師 数代教師 数代解析学 数職物理学 化学字 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I セッチング インターンシップ グローバルテクノ ロジー 論a	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Δ		ΦΔ	0	©	© ©	0 0	Δ	0		Δ		0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発	応用数学 I 応用数学 I 定用数学 I 実践化学 地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代粉論 現代代粉論 現代代解析学 教院の学 現代解析学 教育学 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I セオッチ アディン キャリア 形成 支援 インターンシップ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Δ		ΦΔ	0	©	© ©	0 0	Δ	0		Δ	0	0



分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		応用化学実験基礎	• 2	Δ	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0	0
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	応用化学実験 A	• 2	0	Ō	0	0	0	0	Δ	Ō	0	0	0	0	0
	な化学現象の本質を説明できる。	応用化学実験 B	2	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	化学の実験や演習により修得した問題解決能力 を	応用化学実験 C	• 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		基礎化学演習 a	• 1	Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0		Δ	Δ
	もとに、社会の要求や課題に対して他者と協議し	基礎化学演習 b 基礎化学演習 c	• 1 • 1	Δ ©	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	0	0	Δ	Δ
	て取り組むことができる。	室に子演習 c 応用化学演習 a	• 1	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	応用化学演習 b	1	Ô		0			0	0	Ő		0	0		
基幹科目	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	応用化学演習 c	• 1		0	0				Ö	ő			ŏ		
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	化学概論 a	• 2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	適切に対処することができる。	化学概論 b	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考え	無機化学Ⅰ	• 2	Δ	0	0				Δ	0		Δ	0		Δ
	を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議	無機化学Ⅱ	● 2 ● 2	0	^	0	0	0	Δ	0	0	0	Δ	0	0	
	論することができる。	物理化学 I 物理化学 II	• 2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	有機化学 I	• 2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	きる。	有機化学Ⅱ	• 2	Ŏ	0	0				Ö	Ö			ŏ	1	
		有機化学Ⅲ	• 2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		Δ	0	Δ	
		応用化学実験 D	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		化学工学 I	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	化学工学 II	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
		化学英語	2	0	Δ	Δ	0		0	Δ	0		0	Δ	0	
	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷 な認識! これた なるはよりないのよいな事:	応用化学探求	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0		0	0
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	情報化学	2		0	0	0	0			0	0			0	0
総合化学系	適切に対処することができる。								_							
科目	化学技術の専門知識と技術力をもとに、自らの	量子化学	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもと	分子分光学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	Δ	Δ	Δ
	で議論することができる。	電気化学	2		0	0				0	0		0		Δ	
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	危険物取扱法	2	0	\triangle	0			0	0	0		0	0		
	きる。	化学安全衛生管理	1	0	0	0			0	0	0		0	0		
		国際研究セミナー	2	Δ	0	0	0	Δ	0		0	Δ	0	Δ	0	0
		国際インターンシップ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0
		有機化学IV	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
		有機立体化学	2	0	0	0					0		0		Δ	
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	反応有機化学	2		0	0					0		0		Δ	
	な化学現象の本質を説明できる。	有機合成化学	2		0	0				0	0			0		
	創成材料化学分野 の専門科目 を継続 して学習して	無機合成化学	2	0	0	0				Δ	0			0	1	0
創成材料化	材料創成やエネルギー関連化学における化学技術		2	_	_	_					_			0		
学系科目	の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維	物性化学	_	0	0	0			Δ	0	0		Δ	_	L	
	持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術	錯体・有機金属	2	0	0	0			0	0	0		\triangle	0		0
	について考え、化学技術者としての使命観や倫理	基礎高分子科学	2	0	0	0			Δ	0	0					
	観をもって行動することができる。	高分子化学	2	0	\triangle	0			\triangle		0		\triangle			
		高分子物性	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
		固体化学	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
		分析化学 I	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	分析化学 Ⅱ	2	Δ	0	0		l	Δ		0		Δ	0	1	
	な化学現象の本質を説明できる。	分子構造解析 I	2	0	0	0		l	0	0	0		0	0	 	
	環境生命化学分野の専門科目を継続して学習して	分子構造解析 II	2	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
環境生命化	環境、生命、健康、食品関連化学における化学技	環境化学	2	0	0	0	Δ	-	Δ	0	0	-	0	0	Δ	Δ
東現生町10 学系科目	環境、生町、健康、長品関連化子における化子技 術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の	環境計測	2	0	0	0		-	Δ	0	0		0	0		Δ
丁水行日	州の基礎力を身につけることで、持続的な任会の 維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技				_	_	Δ			_	_		_	_	\triangle	\triangle
	推行・死族に回りて、地球環境に配慮した化子校 術について考え、化学技術者としての使命観や倫	資源化学	2	0	0	0		l	0	0	0		0	0	Ь—	<u> </u>
		有機工業化学	2	0	0	0			0	0	0		0	0	<u> </u>	<u> </u>
	理観をもって行動することができる。	生活化学	2	0	0	0			0	0	0		Δ	0	<u> </u>	
		生命有機化学	2	0	\triangle	0	\triangle		Δ	Δ	0		\triangle	0	\triangle	
卒業研究	化学の専門知識と技術力をもとに、 自らの考え を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議 論することができる。 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	卒業研究	(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	きる。		(注) ●:	必修科目	<u> </u>	押.次修系	1.E E	分数の前	に※を付	1 た郷豊	科目ける	「挙 に 心耳	見た単位を	かと今め	たい科目	

(注) ●: 必修科目、■: 選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目) (※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究が DP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス 上では卒 業研究を4単位と仮定している。



応用化学科 〔2018年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

- (1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- (2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文·理・情報系の素養〕
- (3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。(専門分野の知識・技術(詳細は学科DP))
- 技術者および社会人としてふさわしい コミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュ (4) ニケーション 力〕
- (5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
- (6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。(社会に対し能動的に貢献する 行動力)
 - ◆注:「(3)」を明細化したものが、各学科のDPとなる
- (A) 人文社会科学や自然科学などの幅広い教養を身につけ、広い視点で化学技術力を発揮できる。〔幅広い教養と応用力〕
- (B) 化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。〔化学の専門知識の修得力〕
- (C) 化学の実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協働して取り組むことができる。〔他者との協働性と課題解決能力〕
- (D) 持続的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命観や倫理観をもって行動できる。(化学技術者としての使命感・倫理観と実践力)
- (E) 化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。〔継続的な学修力とケミカルハザード・リスクへの対応力〕
- (F) 化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。(化学の専門知識を基盤としたコミュニケーション能力)
- (G) 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。〔情報技術を活用した発信力〕

《DPを達成するために特に重要度の高い科目には②、重要度の高い科目には〇、DPの達成を効果的に補助する科目には \triangle 》

分野	分野目	標	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP 5)	DP 6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		世界と人間	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		文章表現基礎	2	0	0		0									
		哲学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		倫理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		美術史	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		文学	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		日本語の歴史	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		法学 (日本国憲法)	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		経済学	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		歴史学	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		心理学	2	0	0		Δ	Δ	Δ							
		日本の伝統と文化	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		国際関係論	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		日本の文化と社会I	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		日本の文化と社会Ⅱ	2	0	0		\triangle	Δ	\triangle							
		ベーシック・イングリッシュ a	1	Δ	0		0		0							
	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	ベーシック・イングリッシュ b	1	Δ	0		0		0							
	素養・能力として、広い視野の人文学的教養にも	オーラル・コミュニケーション I a	1	Δ	0		0		0							
キャリア	とづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用	オーラル・コミュニケーション Ib	1	Δ	0		0		0							
形成の基礎	した円滑なコミュニケーション 力が発揮できると	オーラル・コミュニケーション Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
	ともに、心身の健康を維持増進する方策を備えて	オーラル・コミュニケーション Ⅱ b	1	Δ	0		0		0							
	いる。	工学コミュニケーション 英語基礎 a	1	Δ	0		0		0							
		工学コミュニケーション 英語基礎 b	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ I a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ib	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ Ⅱ a	1	Δ	0		0		0							
		キャリア・イングリッシュ II b	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション a	1	Δ	0		0		0							
		英語プレゼンテーション b	1	Δ	0		0		0							
		中国語コミュニケーション	1	Δ	0		0		0							
		中国語と現代中国事情	1	Δ	0		0		0							
		海外語学研修	2	Δ	0		0		0							
		日本語 I	2	Δ	0		0		0							
		日本語Ⅱ	2	Δ	0		0		0							
		健康体育 I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		健康体育 Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ I	1	Δ	0		0	0	Δ							
		生涯スポーツ Ⅱ	1	Δ	0		0	0	Δ							

		解析学 I	2	0	0	Δ				0						
		解析学I演習	1	0	0	Δ				0						
		解析学 Ⅱ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅱ演習	1	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		解析学Ⅲ演習	1	0	0	0				0						
		線形代数学 I	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅱ	2	0	0	0				0						
		微分方程式 I	2	0	0	0				0						
		微分方程式Ⅱ	2	0	0	0				0						
		物理学 a	2	Δ	0											
		物理学 b	2	0	0	Δ				Δ						
	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的	44	2	0	0	0				0						
	素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関		2	0	0	0				0						
	連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共		2	Δ	Δ	0	0	0	0	0		Δ	0		0	Δ
工学の基礎	生を念頭においた思考・判断ができるとともに、	化学	2	Δ	0		_	_	0							
	実践的に他者と協働するなかで専門分野における	地球科学	2		0				0	0			Δ			
	学修意欲を増進する。	生物科学	2		0	0			0	0			Δ			
	1 15/2/2017 6-19/20 2 0 0	工学倫理	2	Δ	· ·		Δ	0	0							
		→子冊理 ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	0	0	1			0			—	—	-	1	—
			2	0	0	-	Δ	Δ							-	
		知的財産法概論 基礎情報処理 I	1	U	0				Δ							
							 		 					-		
		基礎情報処理Ⅱ	1		0				_							
		品質管理	2	0	0		Δ	Δ	0							
		確率と統計I	2	0	0	0				0						
		確率と統計Ⅱ	2	0	0	0				0						
		淀川と人間	1	Δ	0		Δ	Δ	0							
		淀川と環境	1	Δ	0		Δ		0							
		サイエンス探求演習 (PBL)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		宇宙・地球・生命-探求演習(PBL)	1		Δ		0	0	0	Δ						
		級数とフーリエ解析	2	0	0	0				0						
		ベクトル解析	2	0	0	0				0						
		線形代数学Ⅲ	2	0	0	0				0						
		線形代数学IV	2	0	0	0				0						
		複素解析 I	2	0	0	0				0						
		複素解析 Ⅱ	2	0	0	0				0						
		応用数学 I	2		0	0				0						
		応用数学Ⅱ	2													
					0	0				0						
		実践化学	2	Δ	0	0			0							
		地球システムと人間	2	Δ	0				0	0			Δ			
		地球システムと人間 環境生物学	2 2	Δ	0	0							Δ			
\$\$-100.50 AV. 1	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権	2 2 2	Δ	© © ©			0	0	0						
数理科学と	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システム と人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I	2 2 2 2	Δ	© © ©			0	0	0						
数理科学と 教育		地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I	2 2 2 2 2	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学	2 2 2 2 2 2 * 4	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 投行と対 現代代数学 数学特論	2 2 2 2 2 2 ** 4 ** 4	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代機何学	2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4	Δ	© © ©			©	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代機同学 現代解析学	2 2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 数戦物理学	2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代幾何学 現代解析学 授助研析学 被助理学	2 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4	Δ	© © ©			©	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 II 教育学 M 現代代数学 数学特論 現代後何学 現代機何学 現代解析学 教職字報 地学 I	2 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 3 4 4 3 4 3 3 3 4 4 3	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代解析学 教職物理学 化学実験	2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 2	Δ	© © ©			0	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数字特論 現代解析学 現代解析学 受現代解析学 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 2 2	Δ	© © ©			©	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 II 現代代数学 数学特論 現代幾何学 現代機何学 現代解析学 数職学型 地学 I 地学 I	2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 3 4	Δ	© © ©			©	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 II 現代代数学 数学特論 現代解析学 数職物理学 化学学 I 地学 I 地学 I 地学 I 世学 I 世学 I 世子 I 生物学 II	2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 2 2	Δ	© © ©			©	0	0						
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 B 現代教学 数学特論 現代解析学 現代解析学 現代解析学 世学 I 地学工 地学工 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 E	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		©	0			© ©	© ©	Δ		Δ			0
	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 II 現代代数学 数字特論 現代機可学 現代機可学 現代機所学 現代機所学 地学工 地学 I 地学 I 地学 I セ物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	S	© © ©		•		0	0	Δ	·		Δ	©	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代機同学 現代機同学 現代機同学 現代機可学 現代機可学 地学 I 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I キャリアデザイン キャリアデオな技術	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		©	Δ	0		© ©	© ©	Δ	©	Δ	Δ	•	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代幾何学 現代機所学 数職等型 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I セカージップ	2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4 4 2 2 2 2 2 2	S	©	0		S	© ©	© ©	Δ		Δ	Δ	·	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発 展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 II 現代代数学 数学特論 現代解析学 教理代解析学 教理物理学 化学実験 地学 I 地学主 地学子実験 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 E キャリアデザイン キャリア形成支援 インターンシップ グローバルテクノロジー 論a	2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 2 3 2	S	©	Δ	0	©	© ©	© ©	Δ	©	Δ	Δ	0	0
教育	解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社 会の発展に寄与する思考・判断ができる。 グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的 素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発	地球システムと人間 環境生物学 人間発達と人権 教育学 I 教育学 I 教育学 I 現代代数学 数学特論 現代幾何学 現代機所学 数職等型 地学 I 地学 I 地学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I 生物学 I セカージップ	2 2 2 2 2 2 3 4 3 4 4 4 4 4 2 2 2 2 2 2	S	©	Δ	0	S	© ©	© ©	Δ	0	Δ	Δ	0	0



分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	DP G)
		応用化学実験基礎	● 2	Δ	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	0	0	0
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	応用化学実験 A	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	な化学現象の本質を説明できる。	応用化学実験 B	● 2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	化学の実験や演習により修得した問題解決能力を	応用化学実験 C	• 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	もとに、社会の要求や課題に対して他者と協議し	基礎化学演習 a 基礎化学演習 b	● 1 ● 1	Δ	0	0	Δ	Ο Δ	0	0	0	0	0		Δ	Δ
	て取り組むことができる。	基礎化学演習 c	O 1	0	Δ	0	0	0	Ö	0	0	0	Ö	0	0	Δ
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	応用化学演習 a	● 1	0	0	0				Δ	0			ŏ		0
	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	応用化学演習 b	● 1	0		0			0	0	0		0	0		
基幹科目	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	応用化学演習 c	● 1		0	0				0	0			0		
	適切に対処することができる。	化学概論 a	• 2	0	0	0			0	0	0	_	0	0		
	他学の専門知識と技術力をもとに、 自らの考え	化学概論 b 無機化学 I	• 2 • 2	Δ	Δ	0	0	0	0	Ο	0	0	Ο Δ	0	0	Δ
	を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議	無機化学Ⅱ	• 2	0		0			Δ	0	0		Δ	-		
	を調理的に表現し、他有この相互理解のもこで該 論することができる。	物理化学 I	● 2	0	Δ	0	0	0	0	ŏ	0	0	0	0	0	Δ
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	物理化学Ⅱ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
	目報技術を活用して、目のの息見や成米を発信で きる。	有機化学 I	● 2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	e o .	有機化学Ⅱ	• 2	0	0	0				0	0			0		
		有機化学Ⅲ	• 2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		Δ	0	Δ	_
		応用化学実験 D	• 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		化学工学 I	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化	化学工学 II	2	0	0	_	_	0	_	Δ	_	0	_	0	0	0
	学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷	化学英語	2	0	Δ	Δ	0		0	Δ	0		0	Δ	0	
	を認識し、これらを予防するための手段を考え、	応用化学探求	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0		0	0
総合化学系	適切に対処することができる。	情報化学	2		0	0	0	0			0	0			0	0
科目	化学技術の専門知識と技術力をもとに、自らの	量子化学	2	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0
	考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもと	分子分光学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	Δ	Δ	Δ
	で議論することができる。	電気化学	2		0	0				0	0		0		Δ	
	情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	AGIN IA-NINIA	2	0	Δ	0			0	0	0		0	0		
	きる。	化学安全衛生管理	1	0	0	0			0	0	0		0	0		
		国際研究セミナー	2	Δ	0	0	0	Δ	0	\triangle	0	Δ	0		0	0
		国際インターンシップ	2	0	Δ	0	0	0	0	0	Δ	0	0		0	0
		有機化学Ⅳ	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
		有機立体化学	2	0	0	0			Δ		0		0		Δ	
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	反応有機化学	2		0	0					0		0		Δ	
	な化学現象の本質を説明できる。	有機合成化学	2		0	0				0	0			0		
	創成材料化学分野の専門科目を継続して学習して	無機合成化学	2	0	0	0				Δ	0			0		0
創成材料化	材料創成やエネルギー関連化学における化学技術	物性化学	2	0	0	0			Δ	0	0		Δ			
学系科目	の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維	錯体・有機金属	2	0	0	0			0	0	0		Δ	0		0
	持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術	基礎高分子科学	2	0	0	0			Δ	0	0		Δ			
	について考え、化学技術者としての使命観や倫理	高分子化学	2	0	Δ	0			Δ	_	0		Δ			
	観をもって行動することができる。	高分子物性	2	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
		固体化学	2	0	0	0	Δ	^	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
-		分析化学 I	2	0	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様	分析化学Ⅱ	2	Δ	0	0			Δ		0		Δ	0		
	化子の基礎から応用までを体系的に理解し、多様 な化学現象の本質を説明できる。	分子構造解析 I	2	0	0	0			0	0	0		0	0		
	な化字現象の本質を説明できる。 環境生命化学分野の専門科目を継続して学習して	分子構造解析 Ⅱ	2	Δ	0	0	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ
環境生命化	環境、生命、健康、食品関連化学における化学技	環境化学	2	0	0	0	Δ		Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
環境生命化 学系科目	環境、生命、健康、食品関連化子における化子技 術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の	環境計測	2	0	0	0	Δ	-	Δ	0	0		0	0	Δ	Δ
77711	維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技	等源化学	2	0	0	0		1	0	0	0		0	0		
	権行・光族に同りて、地球環境に配慮した化子技術について考え、化学技術者としての使命観や倫	有機工業化学	2	0	0	0		1	0	0	0		0	0		-
	理観をもって行動することができる。	生活化学	2	0	_	_		1	0		_		_	_		-
	The contract of the contract o			_	0	0	^	!	_	0	0		Δ	0	_	
	ル夢の東間知識し井保もよりしゃ。ウェッヤン	生命有機化学	2	0	Δ	0	Δ	<u> </u>	Δ	Δ	0	_	Δ	0	Δ	<u> </u>
卒業研究	化学の専門知識と技術力をもとに、 自らの考え を論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議 論することができる。 情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信で	卒業研究	(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	きる。															
					- 199 £			の前に※						1. MH)		

(注) ●: 必修科目、■: 選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目) (※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究がDP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。

